

広報

my hometown TOMIOKA 2013

とみおか

8

No.610



主な目次 Contents

生活再建へ急がれる災害公営住宅整備	02~03
お知らせ	04~07
とみおか桜通信	08~13
こんにちは。大玉診療所です！	14
とびくす	15~16



図3：郡山市・いわき市 第1期分建設予定地
※富岡町分限定の住宅建設予定地ではありません。

第1次福島県復興公営住宅整備計画(福島県発表)

1. 基本的な考え方

- ①復興公営住宅は、避難されている方々のコミュニティ維持・形成の拠点となるものです。
- ②入居にあたっては、市町村単位や親族同士等、複数世帯の入居(グループ入居)に配慮します。
- ③コミュニティ集会所を併設するなど、入居者と周辺に避難されている方々、近隣地域にお住まいの方々の交流ができるよう整備します。

2. 復興公営住宅の特徴

- ①玄関から居室内まで、段差のないバリアフリーとします。
- ②3階建て以上の場合は、全てエレベーターを整備します。
- ③太陽光発電設備を設置すると共に、エネルギー効率の良い住宅を整備します。
- ④地域の気候に配慮し、特に会津地方ではサンルームを設置します。
- ⑤木造住宅や内装材への県産木材の活用に配慮します。

3. 整備箇所及び個数

- ①県内全体で概ね3,700戸を整備します。
※整備箇所及び個数は、平成25年5月7日に復興庁が公表した住民意向調査を基にしています。なお、「調査への未回答」や「現時点では判断できない」などの変動要因も配慮しています。

4. 整備スケジュール

- ①先行整備を除き、平成27年度までの入居をめざし整備を進めます。
- ②設計施工一括選定方式や買取方式等の民間活用方式を取り入れ、整備期間の短縮を図ります。

◆災害公営住宅設置状況

・いわき市

県はこれまで、いわき市内に双葉郡からの避難者向け災害公営住宅を1800戸用意する案を示しており、先行的に250戸の建設準備を進めています。しかし、県は先行設置住宅への入居時期や方法などを示しておらず、しかも本町以外に大熊、双葉、浪江の3町も同市への住宅設置に関

する協議を行っているため、1800戸の具体的配分を含めた諸問題について、早急な検討を進めていきます。

・郡山市

郡山市には先行160戸(見積り戸数390戸)の整備を進めており、現状では同市北部の日和田地区に設置する20戸(富岡町分限定の住宅ではありません)が比較的早い完成を予定しています。さらに県は、大きな間を置かず同

・大玉村

大玉村内への災害公営住宅設置は、大玉安達太良応急仮設住宅自治会からの要望を受けて検討を始め、現

・三春町

今年5月に、三春町内に避難されている町民の皆さんを対象に、簡易意向調査

市内の4〜5カ所に集合型住宅を建設する方針です。

郡山市の災害公営住宅には、浪江町と双葉町も入居する方向で調整が進んでいますが、入居単位や募集開始時期などについては、現在検討中となっております。

在大玉村、富岡町、国、県の4者で協議を進めています。

を実施いたしました。現在のこのデータを元に、災害公営住宅設置の是非を含め検討を進めております。

災害公営住宅に関する情報については、途中経過や協議結果を含め、随時広報誌や町ホームページ、タブレット端末等でお知らせいたします。



図1：計画案のひとつである郡山市日和田団地完成イメージ
※外観や仕様は建設場所等によって異なります。

賠償、除染と並ぶ重要課題
生活再建へ急がれる災害公営住宅整備

町では、今年3月の避難指示区域再編に伴い、一般家屋の除染計画やインフラ整備に向けての本格的な調査、さらには公共施設の先行除染の実施など、復興・復旧に向けた取り組みを開始しました。それと並行し、急務となっているのが住環境の整備です。

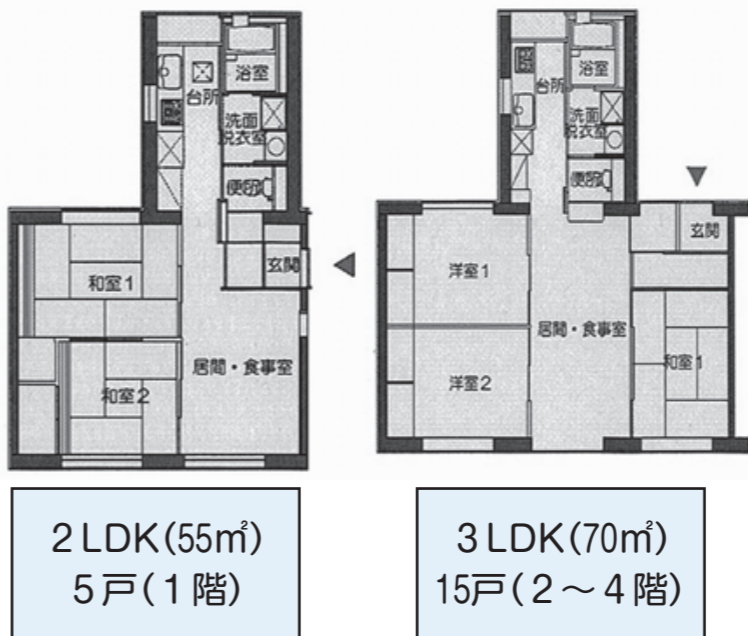


図2：日和田団地の間取り平面図

現在多くの町民が入居する応急仮設住宅では耐用年数の問題が、また民間借上げ住宅では、孤立や希薄するコミュニティといった問題が深刻化しています。町では、それら様々な問題から来る町民の皆さんの不安を少しでも解消していただくため、「災害公営住宅」の整備について国や県、受入れ市町村との協議を進めています。

県では、第一次整備計画として郡山市、いわき市、会津若松市への県営災害公営住宅建設を予定していますが、富岡町は「第一次富岡町災害復興計画」において、避難指示が解除するまで町民の皆さんが生活を送る拠点(町外コミュニティ)を、サテライト方式で郡山、いわき両市に置く計画を策定しました。

これまで町が実施した町民意向調査では、一戸建て住宅への入居希望が多数を占めていましたが、受入れ自治体の両市は、公共施設や医療機関、交通面などの許容範囲、さらに用地確保の問題から、集合住宅型の建設を望んでいます。このため町では、国、県に対し両市内の複数箇所への集合住宅型県営災害公営住宅設置を申し入れ、県も平成26年度からの入居を目指し建設準備を進めています。



国・県義援金第2次配分の追加配分について

国・県義援金の第2次配分については、平成23年10月19日より順次追加配分を行っておりませんが、次のとおり4回目の追加配分を行うことになりました。

今回の配分につきましては、受付事務の簡素化・迅速化を図るため、基本的に前回の追加配分時と同じ口座に振込みをさせていただきます。

- ▼配分方法
原則として、前回(3回目)の追加配分)と同じ口座に振込みます。
- ▼配分時期
9月上旬頃までには口座への振込みを予定していますので、通帳記帳によりご確認ください。
- ▼口座の変更をしたい場合
前回の振込み口座を使用出来なくなった、口座名義が変更になった等の事由により、口座を変更される場合には、次の方法により変更の手続きをしてください。
- ①電話で「振込口座変更依頼書」を要求する場合は、お問合せ先までご連絡ください。依頼書と返信用封筒を郵送しますので、依頼書に必要事項を記入の上ご返送ください。
- ※電話による依頼書の要求は8月23日(金)までお願いします。
- ②町ホームページから依頼書をダウンロードした場合は、必要事項を記入の上8月23日(金)までに、郵送でご提出ください。

双葉農業普及所 からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要な情報(農産物・土壤モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)を分かりやすくご説明するため、毎月県内5カ所に、相談窓口を設置しています。最寄りの窓口にお気軽にお越しください。

双葉農業普及所
☎0246-24-6044

開催地区	開催日	開催場所	開催地区	開催日	開催場所
二本松市	8月8日	浪江町役場二本松事務所	いわき市	8月16日	楢葉町役場いわき出張所
	8月30日		郡山市	8月22日	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所
会津若松市	8月9日	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内	三春町	8月23日	葛尾村役場三春出張所
	8月29日				

時間は各会場とも10:00~15:00

◆富岡町長選挙 結果	◆富岡町議会議員補欠選挙 結果
当選 3,916票 宮本 皓一氏 3,859票 遠藤 勝也氏	当選 2,965票 堀本 典明氏 2,091票 高野 匠美氏 2,076票 渡邊 高一氏
・有権者数 11,631人 (男 5,829人 女 5,802人) ・投票者数 7,909人 (男 3,848人 女 4,061人) ・投票率 68.00% (男 66.01% 女 69.99%)	・有権者数 11,631人 (男 5,829人 女 5,802人) ・投票者数 7,901人 (男 3,843人 女 4,058人) ・投票率 67.93% (男 65.93% 女 69.94%)

放射線内部被ばく検査

町では、町民の皆さまの健康不安解消及び健康管理を目的に、今年度より県内の医療機関において、放射線内部被ばく検査を実施いたします。

平成25年8月中は、妊娠中の方並びに4歳以上18歳以下のお子さんを対象として実施しています(同行される保護者の方も一緒に検査を受けられます)。検査をご希望の方は、次の申込方法によりお申込みください。

- ▼対象者
富岡町に住み登録のある現在妊娠中の方及び、4歳以上18歳以下の方(平成23年3月11日時点で富岡町内の学校に通学されていた、現在18歳以下の方も含まれます)。
- ▼検査機関及び検査日程
・公益財団法人 震災復興支援放射線対策研究所
ひらた中央病院
(石川郡平田村大字上蓬田字大隅30)
8月
- ▼検査費用
無料です。検査機関までの交通費については、自己負担となります。
- ▼申込方法
富岡町役場コールセンターまで、電話にてお申込みください。検査希望日は第1・第2希望までお伝えください。

提出が遅れる場合は、口座を変更することを期限日まで電話にてご連絡ください。※期限が過ぎた場合は、口座の変更が出来ませんのでご了承ください。

▼問合せ並びに口座変更依頼書郵送先
〒963-0201
郡山市大槻町字西ノ宮48-5
富岡町役場 郡山事務所
健康福祉課 義援金担当

2歳以上のお子さんのための放射線内部被ばく検査

公益財団法人 震災復興支援放射線対策研究所(ひらた中央病院)では、7月から検査機器の開発によりこれまで検査を受けることが出来なかった2歳以上のお子さんを対象に、放射線内部被ばく検査を開始いたしました。

検査をご希望される方は、前記でご案内しております4歳以上を対象とした検査の申込み方法と同様、町コールセンターまで電話にてお申込みください。

検査日・その他詳細については、4歳以上を対象とした検査のご案内と同様の内容となっております。

健康福祉課 健康づくり係

被災程度、債務残高や借入額等、補給を受けるためには条件がありますので、詳しくはインターネット検索サイト「福島県二重ローン」と検索するか、県建築指導課にお問い合わせください。

☎024-521-8184

お詫びと訂正

広報とみおか7月お知らせ版3ページ、富岡町職員人事異動の職員名に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

◆復興推進課副主幹(都市整備課副主幹)
誤：中川 雅一 正：中川 雅市

お知らせ

富岡町役場コールセンターまで、電話にてお申込みください。検査希望日は第1・第2希望までお伝えください。

☎0120-033-6466

富岡町役場コールセンターまで、電話にてお申込みください。検査希望日は第1・第2希望までお伝えください。

☎0120-033-6466

9月以降の放射線内部被ばく検査については、順次広報・ホームページ等でお知らせします。

住宅の二重ローンでお困りの方へ

福島県では、東日本大震災で住宅に損害を受けた方の生活再建を支援するため、住宅

問い合わせ先

- 富岡町役場郡山事務所
○富岡町議会事務局
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
☎ 0120-33-6466
FAX 024-961-3441
- 富岡町教育委員会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 0120-33-6466
FAX 024-953-6304
- 富岡町役場いわき出張所
〒970-8026
福島県いわき市平字梅本15
福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階
☎ 0120-33-6466
FAX 0246-88-1975
- 富岡町役場三春出張所
〒963-7719
福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1
☎ 0120-33-6466
FAX 0247-62-0901
- 富岡町役場大玉出張所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村玉井字台45-1
☎ 0120-33-6466
FAX 0243-48-1147
- ・大玉仮設診療所
〒969-1302
福島県安達郡大玉村字横堀平158-10
☎ 0243-48-4710
FAX 0243-48-4710
- 財団法人富岡町体育協会
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-8570
FAX 024-953-6304
- NPO法人さくらスポーツクラブ
〒963-8025
福島県郡山市桑野2丁目1-1
☎ 024-983-5299
FAX 024-983-5299
- 富岡町社会福祉協議会
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3345
FAX 024-935-3346
- おだがいさまセンター
〒963-8041
福島県郡山市富田町字若宮前32
高齢者等サポート拠点施設内
☎ 024-935-3332
FAX 024-935-3334

平成26年度双葉地方広域市町村圏組合 職員採用候補者試験のお知らせ

1. 試験職種及び採用予定人員
消防業務／14名程度
2. 受験資格
 - ・昭和59年4月2日から平成8年4月1日までに生まれた者で、自動車運転免許(普通自動車以上※AT限定免許を除く)取得予定の者で、学歴は問いません。
 - ・身体の基本
胸囲が身長概ね2分の1以上。
矯正視力が両眼とも0.7以上。
聴力が正常であること。
精神及び身体に障害がなく、感染性疾患がないこと。
※次に該当する者は受験できません。
日本国籍を有しない者。
成年被後見人または被保佐人。
禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、又は執行を受けることがなくなるまでの者。
国家及び地方公務員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者。
日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者。
3. 試験の方法
高等学校卒業程度で次により実施
 - ①第一次試験
教養試験及び適正検査
 - ②第二次試験
体力測定、小論文、個別面談
4. 資格調査(第一次試験合格者のみ)
5. 試験期日、場所
 - ・平成25年9月8日(日)
受付：9:00～9:30
 - ・広野町サッカー支援センター内
広野町大字下北迫字二ツ沼44-15
6. 受験手続き及び受付期間
 - ・申込み用紙の請求
 - ①双葉地方広域市町村圏組合事務局 総務課
(双葉郡広野町大字下北迫字二ツ沼44-15
広野町サッカー支援センター内)
 - ②消防本部
(双葉郡楮葉町大字山田岡字仲丸1-110)

- ③川内出張所
(双葉郡川内村大字上川内字早渡11-4)
※申込み用紙は、前記①～③で交付します。郵便による請求の場合は、封筒の表に「職員採用試験申込み用紙請求」と朱書きし、120円切手を貼った宛先明記の返信用封筒(角型2号)を必ず同封して前記①の事務局まで送付してください。
- ・申込みの方法
 - ①申込み用紙に必要事項を記入し、前記①の事務局に提出してください。郵送する場合は、80円切手を貼った自分宛の封筒(長型3号)を同封し、その表に「職員採用試験申込」と朱書きして前記①の事務局まで送付してください。
 - ②受験票を受領したときは、最近6ヵ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向き、縦6cm×横4.5cm)1枚を貼って受験当日に必ず持参してください(受験票がない場合、又は受験票に写真が貼っていない場合は受験できません)。
 - ・受付期間
 - ①平成25年7月16日(火)から8月15日(木)の、午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日・日曜日及び祝日を除く)。
 - ②郵便による申込書請求の場合は、8月13日(火)までの消印のあるものに限り受け付けます。
7. 試験結果の開示
第一次試験の結果については、第一次試験の不合格者に限り口頭で開示を請求することができます。開示の場所は①の事務局総務課になります。なお、電話・郵便等による請求では開示出来ません。受験者本人であることを明らかにする書類(運転免許証等)を持参のうえ、受験者本人が直接おいでください。
8. その他
受験の際は「HB」の鉛筆と消しゴムを持参すること。
【問合せ先】
双葉地方広域市町村圏組合
事務局 総務課 Tel：0240-27-4665

ご存じですか? 建退共制度について

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立されたものです。この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめた時に建退共から退職金を支払うという退職金制度です。

▼加入できる事業主
建設業を営む方

▼対象となる労働者
建設業の現場で働く方

▼掛金
月額 310円

▼特長
・経営事項審査で加点評価の対象となります。
・掛金の一部を国が助成します。
・掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

福島いのちの電話

社会福祉法人福島いのちの電話では、悩みや苦しみに関する相談を電話で受付けています。

☎024-536-4343

相談受付時間 午前10時から午後10時
(毎月第3土曜日は午後10時から翌朝10時の間も受付けています)

・事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

・自社の福利厚生に便利な提携施設の割引サービスが利用できます。

〈建退共制度の特例措置のお知らせ〉

建退共では、地震等により災害救助法が適用された皆様に対し、各種手続きの特例措置を実施しております。

団 体 独 立 行 政 法 人
勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
事業推進課
☎03-6731-2866

赤十字復興支援事業「元気あっぷライブ」のお知らせ

～クラシックと落語で県民の心のケア、元気回復!～

日本赤十字社福島支部では、復興支援事業として「元気あっぷライブ」を開催いたします。1,700名を無料でご招待いたします(応募多数の場合は抽選になります)。

- ▶開催日時 9月8日(日)14時～
- ▶会場 福島県文化センター 大ホール (福島市春日町5-54)
- ▶出演 ・12人のヴァイオリニスト
(高嶋ちさ子プロデュースによるヴァイオリンユニット)
・桂 福丸
(2007年桂福團治4代目入門。平成23年第1回繁昌亭ドリームジャンボコンテスト小枝杯7Rチャンピオン)
- ▶招待者数 1,700名
- ▶申込方法 ハガキ又はFAXで下記の必要事項記載の上お申込みください。
 - ① 9/8ライブ希望
 - ② 郵便番号・住所
 - ③ 氏名(フリガナ)
 - ④ 年齢
 - ⑤ 電話番号
 - ⑥ 希望人数(お一人2名様まで)
- ▶応募締切 8月21日(水) ※当日消印有効
- ▶入場券の発送 8月28日に当選ハガキ(入場券兼用)を発送いたします。
※落選通知はいたしませんのでご了承ください。
- ▶申込・問合せ先 〒960-1197 福島市永井川字北原田17 日本赤十字社福島県支部
☎ 024-545-7996 FAX 024-545-7923

TOMIOKA 桜通信

第16号

東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」では、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



地震に遭遇したのは、他の行政区

長さんたちと同じように、広報紙など、役場からの配布物を各班ごとに振り分けして、ちょうど半分ぐらゐまで作業が進んだ頃でした。初めはこのままやり過ごせるかと思いましたが、揺れが治まらないどころか、強弱を繰り返すばかりの状態に危険を感じ外に飛び出しました。妻は確定申告のため相馬市に出かけており、大津波警報が発令されるなど、安否をとでも心配しましたが、幸い妻も仕事に出ていた長男も無事で、その夜遅くに帰宅することが

できました。

翌朝、南相馬市内の医療機関を受診するため出かける支度をしていたところ、友人が来て避難について知らされました。川内村方面は大混雑していたため、まず第一原発から10キロ圏外にあたる町内の赤木地区まで行って4時間ほど留まり様子を見ていましたが、状況に変化が無いため西に向かい、田村市内の避難所に一時身を寄せたあと、親類らと共に山形県に向かいました。その後、児童市内の親類宅や避難所に約1ヶ月ほど滞在しましたが、仕事のため一足先に福島県内へ戻った長男から住むところが見つかったとの知らせを受け、一昨年4月下旬から現在暮らしているアパートへと移りました。

私は、町を追われるまで、妻と共に農業で生計を立ててきました。富岡は冬でも野菜を作ることができ、農業には恵まれた環境でした。避難からは2年以上が経過し、長年手入れを続けてきた田畑や屋敷は荒れ放題です。「ここを直せば住めるかな…」などと考えることはしばしばですが、一時帰宅して、私の屋敷に限らず行政区や町の現状を見る



まちの思い出

と、住むのはやっぱり無理かなとあきらめにも似た気持ちになってしまいました。

先日、行政区長会で第一原発の視察があつたので参加しました。テレビを通してしか見ることがなかった事故後の姿でしたが、現地で見ると、実際の被害の大きさに驚いてしまいます。また、放射線量も高く、原発事故の恐ろしさと収束作業の困難さを改めて感じさせられました。

これといって何もすることがないアパート暮らしはストレスがたまりません。しかし、何もしないわけにもいきません。そこでまず、いわき四倉交流サロンの運営に参加しています。また、近所の知人から土地を借り小さいながらも畑で野菜作りを始めました。家族で食べる程度のもですが、やはり長年向き合ってきた土に触れると、避難生活のストレスも少しは緩和されるようです。



まちの思い出

本町行政区長

町を離れ、田村市、山形県天童市を経て、現在、いわき市小名浜の借上げ住宅に、妻、長男の家族3人で生活している。

末永 九さん (本町)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



避難指示を受け川内村に避難したところ、防災行政無線で、村役場が私たち避難者のために米をはじめとする食料の提供を呼びかけていました。人口約3千人の村に、約1万6千人の富岡町民のうち、2〜3割が避難したとしても、村の人口を簡単に超えてしまいます。容量超過にもかかわらず受け入れてくれた川内村の皆さんには、本当に頭がさがる思いです。私は、川内村への避難中、福島市内に住む長女の夫とその父親が迎えに来たため、同村を離

れ長女夫婦などに世話になり、現在の借上げ住宅に移りました。私は、19歳の時から2年間、旧・野田村(現在の福島市野田町)で生活していたのですが、当時から親交があり、現在果樹農家を営む知人を訪ねたところ、私がアパート暮らしで退屈なのではと気を遣っていたとき、畑作や植物が好きなののために畑を貸してくれました。そこで、双葉郡内から近隣に避難している仲間と一緒に畑をやらなかと声をかけたところ数名が集まり「双葉復興農園」という名前で畑作を始めました。福島市では、冬の寒さや積雪などのため、富岡のように年中畑作ができるわけはありませんが、長年の楽しみを避難により取り上げられてしまった自分にとっては、うれしい気持ちでいっぱいです。おかげさまで収穫も上々。私たち夫婦だけでは食べきれない量ではないため、近所に住む長女一家や知人などにおすそ分けして、旬の味を楽しんでいただいています。また、震災前から行ってた養蜂も再開しました。岐阜県内の専門業者から巣箱ごとミツバチを取り寄せました。輸送中のストレスで蜂の多く

が死んでしまいました。生き残った蜂でなんとかスタートすることができました。この土地は桃、栗、梨、りんごなどの果樹生産が盛んな上、椿などの植栽、れんげ草なども多く、その花が咲く時期にあわせて、それぞれの花から蜜が運ばれてくるため、様々な風味の蜂蜜を楽しむことができます。またこの季節は、市内西部の標高が高い地域で平地から一歩遅れて栗の開花がピークを迎えます。独特の風味をもつ栗の蜜を採るため、蜂の巣箱を移動させようと思っていますが、養蜂は「家畜」と同様、衛生上の規制があり、蜂が病気になるっていいかななどの検査を受けました。福島にきて3度目の夏を迎えましたが、この季節、富岡ではヤマセが吹き込んで肌寒い日もあったなどと懐かしく思う時もあります。

角 一實さん (夜の森駅前北)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



平成23年4月、私が監督を務めさせていただいている夜の森ソフトボールスポーツ少年団は、30周年記念大会を開催する予定でした。同大会を控え、準備万端に整った矢先での被災となりました。スポーツ少年団の子どもたちからは「じーやん」などと呼ばれ、子どもたちとの距離は近かったと思いますが、避難でバラバラになり、あの子どもたちが今どこでどうしているのかとても気にかかります。また、ある大会で優勝し表彰式が終わった後、子どもたちとその保

護者たちが私に駆け寄り、胸上げをしてくれたことなどを時折思い出すことがあります。かけがえのない思い出に感謝の気持ちでいっぱいです。私は、平成元年に常磐交通を定年退職し、その後は富岡町内にある営業所の嘱託社員として、バス等の運行管理補助業務を行っていました。震災発生当日は、夜勤のため午後4時30分の出勤予定でしたが、地震の発生を受けて早めに営業所へ向かったところ、いわきの本社をはじめ、他の営業所とも連絡がとれない状況でした。その時4人の運転手が出動していましたが、不測の事態に備えて営業所に泊まりました。翌日、役場から避難用のバスを出してほしいと要請があり、可能な限りの手配をしました。それまで原発の安全神話を疑うことはありませんでしたが、避難が始まりだんだん人がいなくなる町の姿に、涙がこぼれる思いでした。その日の夕方、帰所した運転手とともに、川内村にあるこの運転手の実家にお世話になりました。翌朝も富岡の営業所に向かいましたが、業務に区切りを付け早々に川内村へ戻ったところ、当時役場に務めていた長男に再

会。翌3月14日には同村内で長女一家と合流し、ビッグパレットふくしまに向かいました。途中、給油や買物のため、給油所などに立ち寄りしましたが、ガソリンや商品はほとんど見当たりませんでした。その後、一昨年6月末から富岡町若宮前仮設住宅に入居しましたが、入居当初、近所は知らない人ばかりでした。しかし、仮設住宅自治会の副会長となって以降、皆さんと交流することができました。今では、毎朝のラジオ体操やグラウンド・ゴルフなど、なるべく外に出て皆さんと一緒に汗を流し、よく笑い、よく食べるようにしています。不自由な避難生活は当分続きそうですが、こうした状況だからこそ、せめて体だけは大事にして、「健康な老人」として、なるべく自立していくようにしたいと思っています。



私たち一家は、震災翌日、町を離れてから県内の避難所や群馬の知人宅を経て、親類を頼って茨城県内に移りました。約半年間、土浦市で生活していましたが、ようやくいわき市内に住まいが見つかり、現在の借上げ住宅で生活を始めることができました。

24年秋頃から本格的に開所準備を始めたものの、この四倉地区を含めいわき市北部には仮設住宅が無く、果たしてサロンを訪れる町民はいるのだろうかと気がかりでしたが、同年12月のオープン後は、周辺の借上げ住宅で生活する人や、一時立入の途中で立ち寄る人など、連日、沢山の人数に足を運んでいただきました。特に、オープン当初は「サロンに行けば誰かに会えるかもしれない」と、避難後、借上げ住宅などで部屋に閉じこもりぎみだった時間を取り戻すかのようになり、毎日訪れる方もおりました。

現在は、皆さんのご要望や支援の申し入れなどを中心に、各種講座、催し物など、毎月スケジュールを立てて運営しています。毎回多くの皆さんに参加していただいております。特に一貫張り教室やニコニコ体操などは満員になるほどの人気です。

私の家は中央通りで菓子店「玉屋」を営んでいました。このサロンを訪れる人に震災前から私を知っているという方も多く、顔を見て「玉屋の嫁さん」と声をかけられることもしばしばで、名札を見て初めて私の「本名」を知ったという方がほとんどで

「語り部の会」の様子



「玉屋の嫁さん」こと 嶋原みち子さん

す。家業を再開できる状況ではありませんが、サロンで皆さんに接することで、自然と店に立っていたころの自分に戻れる気がします。皆さん、どうぞお気軽にお立ち寄りください。



震災に遭った日は、近所の人たちと共に大人9名、子ども10名で夜を明かしました。翌朝の避難指示を受けてリフレ富岡に向かったものの、バスが来なかつたため、近所の方の生まれ故郷である川内村に歩いて向かいました。実家の方に途中まで迎えに来ていただきながら川内村に入り、もうこれで安心かと思つたのもつかの間、その集落も避難区域となつてしまいました。私たちは移動手段がありませんでしたが、ありがたいこと

に実家の方が車を貸してくださり、同村内の避難所、茨城県内の親類のもとを経て、以前、富岡との友好都市締結記念イベントの際、妻が訪れたことのある埼玉県杉戸町に移りました。現在、私たち夫婦は、それぞれ、仕事等の都合があり、白河市と杉戸町の借上げ住宅を往復する生活を送っています。

震災まで、私は漁業、妻はスナックを経営する傍ら漁協支部の婦人部長をしていました。船は津波で流され、漁場は放射能に汚染されてしまいました。スナックは土地を追われてしまった以上できる状態ではありません。働くことが当たり前になつていた私たち夫婦にとって、生きがいという名のハシゴを外されてしまった感じになりましたが、一緒に避難した娘夫婦や孫の姿を見ていると、娘たちのためにも私たちがふさぎ込んでいくわけにはいかないと、失われた過去を振り返るのではなく、前を向いていくことにしました。

私は、相馬双葉漁業協同組合富熊支部の役員をしていることもあり、支部所属の仲間たちの補償に取

り組むための拠点を白河市に置き、月のほぼ半分の生活を同所で送っています。妻には高齢の母がおり、その介護などを含め、これから何かの役に立つであろうと、同じく埼玉県内で生活する福島県からの避難者10数名とともに、連合埼玉が開催したホームヘルパー養成講座を受講し、資格を取得しました。現在は、同じ富岡町から避難した方が杉戸町で開設した「JWAディサービスすぎと」に勤務しています。

また、小学5年生の孫は、避難当初、環境の変化が負担になった時期もありましたが、今では友だちもでき充実した日々を送っています。昨年は杉戸町の国際交流事業に参加し、オーストラリアに10日間滞在しました。

震災以前の生活は戻らないと感じていますが、孫の成長を楽しみに、前向きな日々を送っていきたいと思います。

震災発生当時、夫婦で自宅にいて出漁していなかったため無事だった。津波襲来を聞いて、港に駆け付けた時にはすでに船も漁港も変わり果てた姿になっていた。

阿武隈の優しい自然に触れる 川内村ウォーキング



双葉ユニオンの主催によるウォーキングイベントが7月7日、川内村で行われ、NPO法人さくらスポーツクラブが募集した富岡町民140人を含む双葉郡内からの参加者およそ200人が、阿武隈高地の自然を堪能しました。

今回のウォーキングは、川内村コミュニティセンターを発着点としたコースで行われ、参加者の皆さんは田んぼ道や河川敷を歩きながら川内村の自然に触れ、心と体を癒す一日を過ごしました。

大舞台での活躍に期待 富岡町スポーツ大会出場選手等激励金交付式

富岡町スポーツ大会出場選手等激励金交付式が、過日富岡町役場郡山事務所で行われ、インターハイに出場する富岡高校バドミントン部など、個人及び団体に激励金が手渡されました。

式では遠藤町長が「皆さんの活躍は多くの町民の誇りであり、元気や勇気をいただいている。これまでの努力を信じ、自信を持って頑張ってください」とあいさつ。選手を代表して、富岡高校バドミントン部の林達也君(富二小卒)が「私たちの最終目標である全国制覇をめざし、町民の皆さんに良い報告ができるよう頑張ります」と力強く抱負を述べました。



大会での活躍を誓った選手と関係者の皆さん

激励金交付大会並びに団体・個人(敬称略)

- ◇第42回東北高等学校バドミントン選手権大会 (山形県小真木原総合体育館)
富岡高校バドミントン部(男女各7名)
- ◇バドミントンアジアユースU19選手権2013 (マレーシア・コタキナバル市)
富岡高校バドミントン部
小林 優吾(3年) 保木 卓朗(3年)
大堀 彩(2年) 東野 有紗(2年)
- ◇第64回全国高等学校バドミントン大会 (福岡県北九州市総合体育館)
富岡高校バドミントン部(男女各7名)
- ◇東北高等学校ソフトテニス大会 (青森県総合運動公園)
西山沙玖良(郡山東高校3年)
井出 二菜(田村高校2年)
- ◇第66回福島県総合体育大会ソフトテニス競技 (福島市宮庭球場)
林 民生(西郷第二中学校2年)
根本 大地(西郷第一中学校2年)
萩原 斗夢(船引中学校2年)
坂本 暁子(小原田中学校2年)
渡辺 修也(本宮まゆみ小学校6年)

私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です！



第5回 「歯と健康について」
新妻 学 医師(新妻歯科医院)



暑が厳しい頃と思われませんが、皆様の体調管理はいかがでしょうか？
私は、大玉仮設診療所の歯科医師の新妻です。
歯科のことで健康に結び付くことは当然「食べる」ことだと思います。単純に食べるということだけではなく、全身にも関わってくると考えられます。「夏バテ」という言葉がありますが、やはり「食べる」ということが大切ですね。ただし、歯がほぼすべて揃っている、もしくは義歯などで補綴されているというのが前提です。咀嚼出来るということが「夏バテ」の予防になると思われまます。
さて、ごく最近の発表で歯の喪失とアルツハイマー病の関係が科学的に証明できたとありました。つまり歯がなくなるとアルツハイマー病の症状が悪化するということです。とにかく歯の喪失を防ぎ義歯で補綴することで、病状の悪化の抑制が可能かもしれないというのです。この実験は人工的なアルツハイマー病にかかっているマウスの奥歯の噛み合わせ

せをなくしたものと、噛み合わせは正常なものとを比較して見たところ明らかに悪化したそうです。単純にいうと、ものを噛むことで脳の血流量が増え、奥歯がない場合は減るという結果だそうです。皆さんも注意しましょう。
自分自身の経験でも認知症を患っている方がいました。義歯を作るときに何をしても非協力的で嫌がり、それでも何とか義歯を完成させて装着すると、突然表情がやわらかくなり、言葉はありませんでしたが「ありがとう」という表情を見せてくれたらうえ、後日様子を見に行った際、その方の奥様に「うちのお父さんがすごく優しくなった」と言ってもらえました。偶然かもしれませんが、咀嚼が出来るようになって症状が改善した可能性があります。
最後に、避難生活も2年半となり、個々の生活も本来のものとはかけ離れている中、各々ご自分の生活が出来つつあると思われまます。当然私自身も同じで、毎日の生活のペースを考えながら暮らしております。その中でもやはり物を食べるということが大切で、つ

診療科目：内科・外科・歯科
診療場所：大玉仮設診療所
大玉村玉井字横堀平158-10
受付時間：午前8時30分～11時30分
午後1時～4時

曜日	診療科目	担当医師	備考
月	内科・外科	佐藤正憲	午後3時まで
火	歯科	新妻 学	
水	歯科	新妻 学	
木	内科・外科	井坂 晶	
金	内科	堀川章仁	

図 0243-48-4710

い食べ過ぎて太ってしまったたり、病気になる原因にもなります。ただ、今の食べ物は咀嚼の能力が悪くても食べる事ができてしまう高カロリーのものが多く、歯の喪失が食事の減退につながる可能性もあります。そのため、食物繊維の多いものや、しっかりと咀嚼しなければ食べられない食べ物を摂るようにしてください。「痛みがないから」とか関係なく予防及び歯茎のメンテナンスに歯医者へ行ってください。また、お子さんなども「乳歯だから」「どうせ生え変わるから」など言わずに、予防及び治療に行ってください。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成25年7月11日(晴れ)~12日(晴れ)

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
1	下千里消防屯所	7/11	3.41	5.29
2	上千里消防屯所	7/12	1.89	2.50
3	杉内消防屯所	7/12	2.24	3.34
4	第二工業団地入口	7/12	3.96	5.38
5	高津戸集会所	7/11	5.87	9.12
6	富岡第二中学校東側	7/11	2.23	2.48
7	新夜ノ森集会所	7/11	7.22	9.61
8	夜の森公園	7/11	3.38	6.61
9	松の前待避所	7/11	9.39	10.50
10	小良ヶ浜集会所	7/11	5.87	6.94
11	町境(小良ヶ浜地区)	7/11	6.78	8.33
12	深谷消防屯所	7/11	5.80	6.71
13	富岡町営野球場	7/12	1.14	0.81
14	観陽亭前	7/12	1.37	2.69
15	富岡合同庁舎西側	7/12	3.30	3.88
16	富岡養護学校	7/12	3.47	6.39
17	老人福祉センター	7/11	7.94	12.40
18	夜ノ森駅	7/11	6.93	8.65
19	王塚集会所	7/11	5.67	8.26
20	諏訪神社前	7/11	3.59	3.79
21	上本町消防屯所	7/11	3.05	3.74
22	上本町集会所	7/11	2.62	3.05
23	リベラルヒルズ入口	7/12	2.50	4.03
24	赤木集会所	7/12	2.03	3.24
25	上郡山集会所	7/12	1.69	2.17
26	太田集会所	7/12	1.14	1.58
27	原下消防屯所	7/11	1.30	1.81
28	富岡駅	7/12	0.90	2.20
29	清水消防屯所	7/12	2.44	4.36
30	役場	7/11	2.11	2.06
31	浄化センター	7/12	1.05	1.26
32	毛萱集会場	7/12	0.58	0.51
33	富岡保育所	7/12	2.42	3.88
34	中央児童館	7/11	2.63	3.52
35	栄町駐車場	7/12	2.25	3.09
36	岩井戸消防屯所	7/12	1.49	2.11

No.	測定場所	測定日	地上1m	地上10cm
37	小浜住宅団地内公園前	7/12	4.43	6.76
38	双葉環境センター	7/12	2.72	6.17
39	NHK電波塔入口(浜街道)	7/12	4.73	6.46
40	深谷集会所	7/11	5.32	6.06
41	赤坂神社前	7/11	6.05	7.63
42	太平洋フリーディング前	7/11	11.90	18.50
43	みよし前交差点	7/11	10.60	23.60
44	富岡自動車学校前	7/11	7.29	14.70
45	リフレ富岡	7/11	4.43	5.49
46	東洋育成園前	7/12	3.85	5.79
47	富岡インター駐車場	7/12	3.39	4.76
48	上手岡児童館	7/11	3.11	3.73
49	下千里ライスセンター前	7/11	3.37	4.95
50	館山荘前	7/11	4.02	5.57
51	夜の森つつみ公園	7/11	5.29	5.22
52	総合運動場東側駐車場	7/11	5.35	7.97
53	華の樹前	7/11	6.12	8.21
54	宝泉寺前	7/11	3.38	7.39
55	国道6号第二原発入口前	7/12	1.17	1.74
56	猪狩スタンド前	7/12	1.38	2.33
57	なべや駐車場前	7/11	1.23	2.49
58	大東銀行富岡支店前	7/11	2.62	3.01
59	富岡漁港	7/12	0.60	0.62
60	サンライズイン富岡前	7/12	1.17	1.91
61	福島富岡簡易裁判所前	7/12	3.00	4.69
62	ヨークベニマル富岡店前	7/12	2.68	4.16
63	今村病院前	7/11	5.16	7.65
64	福島銀行富岡支店前	7/11	2.09	3.79
65	龍台寺前	7/12	2.73	5.10
66	清水団地前	7/12	2.77	3.79
67	猪狩電気通信工業前	7/12	2.43	3.12
68	上郡消防屯所	7/12	2.22	3.14
69	岩井戸鉱泉	7/12	1.15	1.68
70	富岡工業団地	7/12	1.64	1.70
71	成沢の滝入口	7/12	1.32	1.86
72	沼名子橋	7/11	2.88	4.40

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

滋賀県湖南市民の皆さまから善意

滋賀県湖南市の谷畑英吾市長が過日富岡町を訪れ、町内の被災状況を視察するとともに、湖南市民から託された義援金を田中副町長に手渡しました。

湖南市は震災後約3ヵ月間、延べ30人に及ぶ職員を本町災害対策本部に派遣。多くの町民が避難生活を送っていたビッグパレットふくしまで住民対応や健康管理業務にあたるなど、これまで本町の復興支援にご尽力いただきました。



田中副町長に義援金を手渡す谷畑市長(右)

義援金をいただいた企業・団体・個人名を掲載いたします (平成25年5月~6月分 順不同・敬称略)

- ・これまで寄せられた義援金 5億1,558万339円(6月末日現在)
- ・配分された額(国、県義援金は除く) 2億3,994万円(同)

西川忠(埼玉県) 井川自転車店(東京都) 島田郁夫(埼玉県) 三嶋正之(岡山県)
石部運輸倉庫株式会社(滋賀県) すきあいたいヤバイ有限公司(東京都) 波多野達(千葉県)
ファルクウェア株式会社(愛知県) 品川区環境課環境活動推進協議会(東京都)
ウンノアツシ(住所不明) 在京富岡友の会武山輝昭(鳥取県) 株式会社ニック(福岡県)
在京富岡友の会浦木誠一(鳥取県)

県立双葉高等学校創立90周年記念式典 開催のお知らせ

大正12年の開校以来、今年で創立90周年を迎えた県立双葉高等学校では、下記により創立記念式典を開催いたします。出席を希望される方は、下記連絡先までお申込みください。なお、参加希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

- 日時 平成25年10月12日(土)
受付 8:30~
記念式典 9:30~10:30
パネルディスカッション 10:50~12:20
- 会場 いわき明星大学児玉記念講堂
- 連絡先 県立双葉高等学校
電話 0246-29-2701

富岡小学校・中学校 三春校 ホームページを開設

三春町内の仮設校舎で活動する富岡小学校・中学校三春校が、ホームページを開設しました。元気に学校生活を送る児童・生徒たちの様子や、行事などを随時アップしておりますのでぜひご覧ください。

- ◇小学校ホームページURL
<http://schit.net/tomioka/tomioka12es/>
- ◇中学校ホームページURL
<http://schit.net/tomioka/tomioka12jhs/>

なお、QRコードにより携帯電話でもご覧いただけます。詳しくは各校のホームページをご覧ください。

「いわき市赤井諏訪神社の山外舞い」 写真提供 西山 栄さん(小浜)



昭和51年にいわき市の無形民俗文化財に指定され、「大國魂神社の大和舞い」を伝承したのが始まりと伝えられています。
大黒舞いや稲荷舞いが演じられ、最後のひょっこり舞いは演者総出で踊り、扇子や紅白の餅が参拝者に向け撒かれます。

あなたが撮った写真をお寄せください

広報とみおかでは、「私からの写真便り」に掲載させていただく写真を募集しています。募集要項等は次のとおりですので、ふるってご応募ください。

◇写真撮影対象

現在お住まいになられている地域の自然や風景、祭りなどテーマは問いません。

※人物(個人)が特定できる写真の場合は必ずその方の了承を得てご応募ください。

◇応募要件

- ① スチールカメラ又はデジタルカメラ等で撮影し、ピントが合っている写真であること。
- ② データの場合はメールに添付できるサイズ、プリント写真は写真専用の用紙に印刷されたもので、大きさはL版か2L版。
- ③ 富岡町民で、氏名、現在お住まいの市町村名、富岡町の行政区名を掲載できる方。
- ④ 写真のタイトルと説明文(150字程度)を添付してください。

◇応募方法

現在お住まいの住所、氏名、富岡町での行政区名、電話番号をご記入の上、データの場合は下記アドレスへメールで、郵送の場合は封書で下記までお送りください。

- ・メールアドレス
tomioka.machi@gmail.com
 - ・住所
〒963-0201
福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
富岡町役場郡山事務所内
企画課情報統計係
- ※応募された写真は返却できません。また応募が多数の場合は選考のうえ掲載させていただきますので、あらかじめご了承ください。

— 今月の表紙：「短冊に願いをこめて」 —

富岡小学校三春校で行われた七夕集会。児童たちは将来の夢や希望、思いを短冊に記し、願いをこめて笹に飾り付けました。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

